

NO.	質問内容	回答内容
Q1	<p>隅木とたる木の大入れ部分ですが、たる木下端はたる木勾配と平行なのか、水平になるのかをお聞きしたいです。</p>	<p>隅木とたる木の取り合い部分は、たる木成の上半分を真上から見て8mm大入れに納めてください。たる木下端の勾配は、課題文に指定していないため任意とします。</p>
Q2	<p>工具類にきりと記載されてますが、釘打ちの際の下穴きりの使用は可能でしょうか。 また、加工組立ての仕様において、木口のかんな仕上げ、糸面取りのみで、材の角は面取りの指定は無いという解釈でよろしいでしょうか。 インパクト用の下穴きりの使用は可能でしょうか。</p>	<p>下穴きりの使用は可能です。課題文に指定をしていない部分に対する材の角の面取りは必要ありません。 インパクト用の下穴きりの使用は、指定工具に定められていないために使用は認められません。</p>
Q3	<p>登りばりと垂木の取り合いの部分については、競技課題図の登りばりの図に書いてある通り登りばりの方を加工するという認識で間違いないでしょうか？</p>	<p>課題文に指定したとおりです。 ご認識のとおり登りばりを加工してください。たる木の下端は加工しません。</p>
Q4	<p>競技課題（3）墨付け ホ たる木と棟桁が取り合う個所は、たる木のみを加工するとあります。一般的に考えると、たる木と棟木との取り合いは「小返り」を取るものだと認識しています。しかし、この書き方だとたる木と棟木の当たり箇所を、たる木を欠きこむようにというふうに読み取れます。お伺いします。</p>	<p>課題文に指定したとおりです。 一般的にはご認識のとおりです。十分承知しております。加工難易度、作業時間、安全性、採点方法など総合的な観点から課題を作成しております。</p>